

「With コロナ時代における未来アイデア
応募用紙

○応募者
氏名・法人

・団体名	株式会社 RDS
(法人・団体の場合)	代表者名:杉原行里
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	<input type="checkbox"/> 同意します
暴力団関係者(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)に規定する暴力団をいう。)	<input type="checkbox"/> 該当しません

○応募内容

アイデアの部門を下記から1つ選んで丸(○)を記入してください。			
	未来デザイン部門	<input checked="" type="radio"/>	未来テクノロジー部門

アイデア名	モビリティ・ヘルスデータ・ラストワンマイルの未来を創る実証フィールド
-------	------------------------------------

提案の概要(200字以内)
With コロナ時代という緊急事態の中で、人を介さずに高齢者や障害者、誰もが快適に健康に過ごす事のできる新しい技術を、モビリティ・ヘルスデータ・ラストワンマイルの3分野で実験→検証→実装していく街づくりを目指す。

提案に当たっての現状・課題・背景 ※様式自由
高齢者の増加が課題となっている日本。この課題を解決するために、様々な技術革新が求められていたが、実際の街への落とし込みは急速には進んでいない状況。With コロナという緊急事態を受けて、人を介さない様々なロボット技術への期待は大きく高まっている。高齢化・With コロナという課題に立ち向かい解決していくために、街とともに実証フィールドを作り、技術を街に実装していく。

提案を実施することによる効果、提案の実現可能性や実現に当たっての課題 ※様式自由
提案の骨子は3方向。1、車椅子の自動走行、階段リフトによる「モビリティ」 2、歩行解析ロボット、フットセンサーを活用した、歩行をバイオマーカーとして活用する「ヘルスデータ」 3、自動走行の小型運搬車による「ラストワンマイル」。効果としては、これらの技術を街中で実験→検証→実装していく事で、高齢化・With コロナ時代の新しい暮らし方を提示していくとともに、街自体の取り組みを新たなモデルとして PR 活用することが可能に。実現への課題は技術的な部分に関しては、大きな問題を抱えていないが、プロダクトを生み出していく中でのコストやスケジュールなどの方法論に課題を抱えているため、相談させていただきながら進めていきたい。

提案の詳細 ※様式自由
※別紙ご提案書提出

※「提案の概要」以下の項目は、適宜記入欄を拡張して構いません。

※様式自由となっている項目は、別ファイル(ワード又はPDF形式)で提出していただいても構いません。ただし、本応募用紙と合

わせて最大 20MB までです。